

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
原価基準－償却原価法(定額法)によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法について
定率法により減価償却を実施している。

(3) リース取引の処理について
リース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税の会計処理について
消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	500,000,000	0	200,000,000	300,000,000
普通預金	0	5,000	0	5,000
投資有価証券	0	199,995,000	0	199,995,000
小 計	500,000,000	200,000,000	200,000,000	500,000,000
特定資産				
自主事業調整積立金	76,397,629	214,843	0	76,612,472
小 計	76,397,629	214,843	0	76,612,472
合 計	576,397,629	200,214,843	200,000,000	576,612,472

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充 当額)	(うち一般正味財産からの充 当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	300,000,000	(300,000,000)	-	-
投資有価証券	200,000,000	(200,000,000)	-	-
小 計	500,000,000	(500,000,000)	-	-
特定資産				
自主事業調整積立金	76,612,472	-	(76,612,472)	-
小 計	76,612,472	-	(76,612,472)	-
合 計	576,612,472	(500,000,000)	(76,612,472)	-

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	※時価	評価損益
第94回大阪府公募公債(5年)	100,149,400	101,050,000	900,600
第30回大阪府公債(5年)	99,995,000	99,870,000	-125,000
合 計	200,144,400	200,920,000	775,600

基本財産に199,995,000円を充当し、帳簿価額差(オーバーパー分)の166,000円のうち未振替分の149,400円を前払金として計上
 ※時価については、SMBC日興証券株式会社送付の残高証明書による

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
公益財団法人荒川区芸術文化振興財団補助金	荒川区	0	86,120,906	86,120,906	0	-
合 計		0	86,120,906	86,120,906	0	